

堺泉北港クルージング 見学ルートを紹介

- 1 . 泉大津フェニックスのバス見学 … P 2
- 2 . 堺泉北港クルージング … P 3

見学ルート

集合（泉大津市役所）

観光バスで泉大津フェニックスの見学

高速旅客船でのクルージング

泉大津旧港～助松埠頭～堺泉北臨海工業地帯
～堺7 - 3区～堺2区（堺浜）～旧堺燈台～
～人工干潟～泉大津フェニックス～汐見埠頭

泉大津駅前（南海本線）で解散

1. 泉大津フェニックスのバス見学



『泉大津フェニックス』とは・・・

現在大阪湾では、家庭ごみの焼却灰などの廃棄物を適正に埋め立て処理し、埋め立てによってできた土地を港として整備する「大阪湾フェニックス計画」が進められています。

泉大津フェニックスは埋め立てが進む処分場の一つで同地の一部は既に埋め立てが完了し、港湾関連の用地などに利用されています。

また、夏季には野外コンサートが開かれるなど地元のにぎわい創出にも努めています。

普段は埋め立て工事を行っているため立ち入りはできませんが、今回は特別に埋め立て現場をバスで見学することができます。

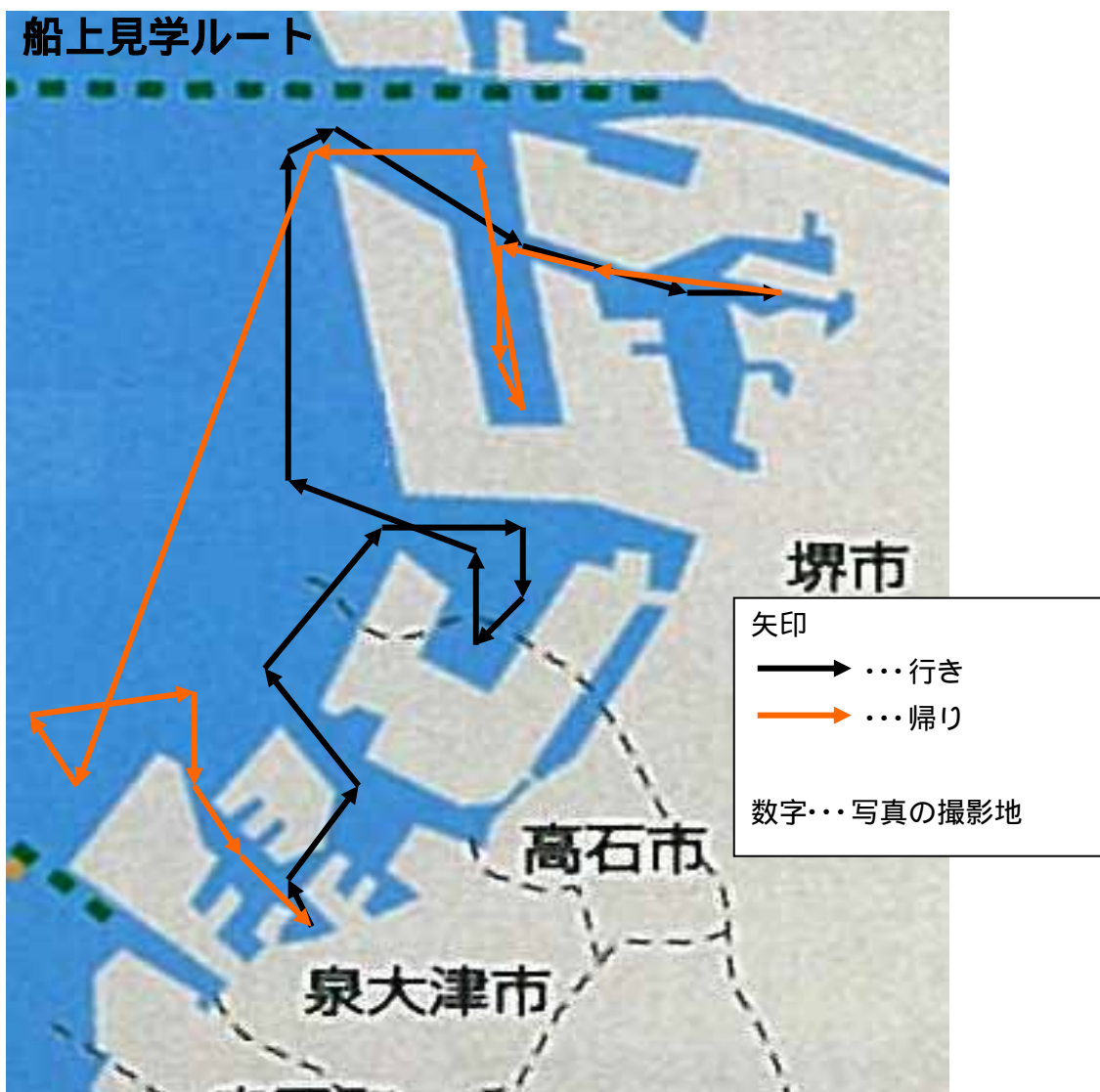
2. 堺泉北港クルージング

泉大津旧港から出発し、堺泉北港を一巡りします。ここでは、クルージング中にご覧いただける堺泉北港の見所をご紹介します。

高速旅客船「しゃるまん」

クルージングの際乗船していただく船で、1階部分が客席になっています。

普段は、神戸と関西国際空港を結ぶ関空ベイシャトルの代替船などとして活躍しています。



泉大津旧港

港湾施設の老朽化に伴い、1989年2月より再開発工事が行われました。

現在は再開発も終わり、高層マンションやホテル、ホームセンターなどが立ち並んでいます。

また、毎年7月には『泉大津サマーフェスタ』の会場としても利用されています。

クルージングはこの泉大津旧港から出発します。



助松埠頭

ガントリークレーンやコンテナ埠頭を有し、国際的な総合物流拠点の整備が進められています。

同埠頭の中央部に位置する総合物流センター用地には多数の企業が進出し、南西部に位置する岸壁にはフェリーターミナルも整備されています。

クルージングでは、これら助松埠頭の設備を船上から間近にご覧いただくことができます。



堺泉北臨海工業地帯

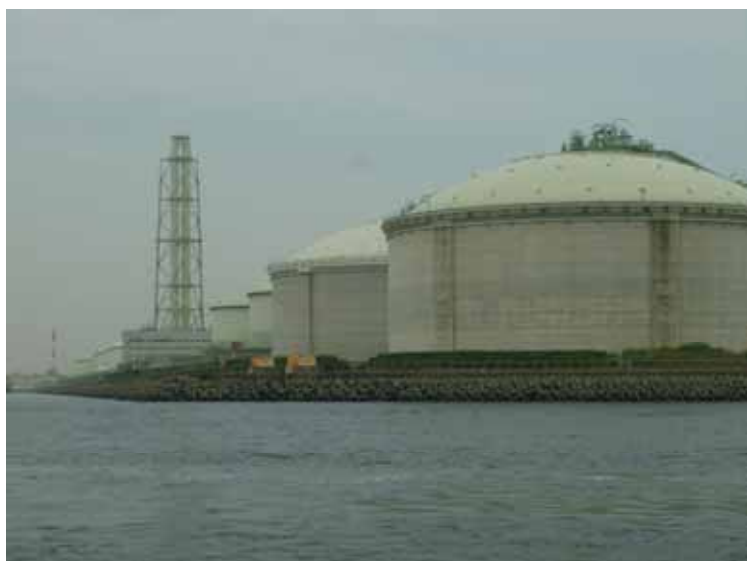
堺市、高石市、泉大津市の臨海部に広がる工業地帯で、石油、天然ガス（LNG）などのエネルギー供給や鉄鋼、石油化学などの重化学工業が主な産業となっています。

右の写真にあるように、多数の石油・LNGタンクや工場が立ち並び、船上からはこれらの施設をご覧いただくことができます。

・堺泉北港の原油等の輸入量（2006年統計）

原油 1166万5千トン
（全国第6位 関西第1位）

LNG（液化天然ガス）
675万1千トン
（全国第8位 関西第2位）



堺7-3区

1974年から2004年にかけて埋め立て工事が行われた地区です。

先端部では、臨海部における緑の創出を目的に『堺7-3区共生の森事業』が進められています。

ここでは一般市民の方にも参加いただいて苗木の植樹作業を行うイベントなどが開かれています。

堺2区（堺浜）

堺2区には、かつて新日本製鉄㈱の工場が立ち並んでいましたが、同社工場の規模縮小後再開発が行われています。

現在、昨年進出が決まったシャープ㈱の液晶パネル工場及び太陽電池工場や関連する企業の工場建設が急ピッチで進められています。

また、大型ホームセンターやアミューズメント施設を備えた堺浜シーサイドステージが2006年に開業しました。

堺2区先端部の沖にある湾曲した護岸は人工干潟の護岸です。その内側で人口干潟の造成が進んでいます。



人工干潟のイメージ



旧堺燈台

わが国最古の木造洋式燈台で、昨年復元作業が完了しました。周辺地域では親水護岸の整備が進められています。

今年7月には2日間に渡って堺市により内部の一般公開が行われました。

汐見埠頭

上屋、倉庫等の施設が充実しており、年間2355隻が入港し、約413万トンの貨物（数字はいずれも2006年）を取り扱っています。

主な取扱貨物は中古自動車や合板などです。

